

こどもひとりひとりの「架け橋期」を充実したものに！

「架け橋期のコーディネーター」がともに考え、支援します



「架け橋期のコーディネーター」は、各地域の幼保小接続・連携の取り組みがより推進されるよう、園・小学校・市町等からの依頼に応じて訪問し、幼保小連絡協議会や合同研修会、交流会などで一緒に考え、支援をします。ぜひ「架け橋期のコーディネーター」をお気軽にご活用ください。

※「架け橋期」とは、義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間のことです。

架け橋期のコーディネーターってどんな人？

架け橋期のコーディネーターは、保育及び教育に関する知見や豊富な経験を持ち、園長、校長などマネジメントの経験がある先生方です。

架け橋期のコーディネーターの活用例は？

【例1】「架け橋プログラム」についての基礎的な研修の講師



架け橋プログラム
って何？

幼保小連携って何
をすればいいの？

幼保小連携・接続や架け橋期のカリキュラム作成について基礎的なことから分かりやすくコーディネーターがお伝えします。



【研修会テーマの参考例】

- ・「架け橋プログラム」の基礎(概要)
- ・幼保小連携・接続の具体的な進め方
- ・なぜ円滑な連携が大切なのか

【例2】相互参観(保育参観・小学校1年生の教育活動参観)とアドバイス

- ・保育参観、授業参観に訪問させていただき、架け橋期の保育・教育や交流・連携について一緒に考えたりアドバイスしたりします。

◆ 園児と児童の交流会「もうすぐ1年生」

小学校児童が校区内の園のこどもたちを招待し、一緒に遊んだり、手作りおもちゃで楽しんだりしました。架け橋期のコーディネーターは、その後の振り返りの話し合いにも参加し、成果等や今後の取り組みについて一緒に考えたり、取組のすばらしさを伝えたりしました。



【例3】協議会、合同研修会などのファシリテーター

- ・ 幼保小の先生方が共通の視点をもって「架け橋期のカリキュラム」を作成できるように進行をします。市町の担当者が、説明や指導助言に専念できるように運営及び進行をします。



◆ 架け橋期のカリキュラム作成に向けた 幼保小連絡協議会

園、小学校の子どもたちや地域の実態を「架け橋期のコーディネーター」の進行で協議しました。目指す子どもの姿を共有し、そのための行事の合同開催などが検討されました。

- ・ 連携・接続の課題や研修・研究のテーマなどについて、一緒に考えたりアドバイスしたりします。



◆ 保育の中で子どもたちのエピソードをもとにした園内研修

小学校の先生、他園の先生なども参加され、架け橋期のコーディネーターも一緒に、こどもの育ちについて考え、話し合いを深めていきました。

架け橋期のコーディネーター派遣までの流れは？

1. 相談、研修内容をお決めください

幼保小の交流・連携や日々の保育・教育の中で課題としていることや研修会、協議会の企画など、上記活用例を参考にしてください。

また、「どのような内容で研修会、協議会を企画すればよいのか？」などでお悩みの場合でも気軽にご相談ください。



2. 「架け橋期のコーディネーター派遣依頼書(様式1)」をご提出ください

訪問日時、場所、会場が決定したら依頼書をご提出ください。

その後、当日の具体的な研修内容や流れなどをセンター職員と打ち合わせます。

もちろん派遣依頼書を提出する前でもご相談をお受けしています。



3. コーディネーター訪問後にアンケートにご協力ください

今後の事業の参考にするため、簡単なアンケートにご協力ください。

また、研修後に参会者の感想や研修実施概要などをまとめられた場合は、コピー等でご提供くださるとありがたいです。



《まずはセンターへお電話などで気軽にご相談ください》

☎ 0952-25-7616 ✉ hy-c@pref.saga.lg.jp

様式等は [こちらから](#) ➡

